

Q 1

自然感染の水痘の潜伏期間中に水痘ワクチンを接種してしまいました。どうなるでしょうか。

A

この場合、ことに重症化したりすることはありませんが、自然感染による水痘の症状とワクチンによる一時的に現れる副反応とを取り違えないように注意することが大切です。

また、水痘の潜伏期間は13～17日程度ですから、潜伏期の後半に接種した場合には、ワクチンウイルスによる抗体産生が間に合わず自然水痘の症状を現すことがあります。反対に、自然水痘の患者と接触後3日(72時間)以内の潜伏期中のワクチン接種である場合には、自然水痘の発病がワクチンで阻止されることが報告されています。